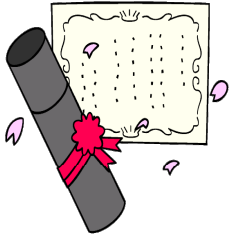


卒業に思いを寄せて

校長 府中 恵理



この学校で、この校舎で、仲間と共に過ごす日も、6年生にとって残り少なくなり、19日には砂山の学舎を巣立っていきます。

6年生の保護者のみなさん、お子様のご卒業を心からお慶び申し上げます。保護者の方々におかれましても、これまでの6年間の歩みをふり返ると、数々の思い出がよみがえってくることでございましょう。お子様が立派に成長したのも、いつでもそばで我が子を見守り支えて来られたからこそで、この喜びは何よりのことと思われまします。私たちといたしましても、学校と連携し常に教育に対してご理解・ご協力をくださったおかげで、共に育てることができたことを大変嬉しく感謝しております。本当にありがとうございました。

また、この卒業を迎える今、忘れてはならないことがもう一つあります。

毎日、子どもたちの登下校を見守り、声をかけ、励まし続けてくださった、地域の方々がおられたことです。どれほど大きな支えとなっていたことか、私たちは決して忘れてはならないことだと思います。地域の皆様方、本当にありがとうございました。

卒業までの残された小学校生活の一日一日を、また、在校生のみなさんは、この一年のまとめの日々を大切に、精一杯、楽しく過ごしてほしいと思います。

どの子も一人一人、優しい子供たちです。誤った言動に流されることのない子供に育てて行きたいです。保護者の皆様方、どうぞ今後も、より強く、堅く繋がり、砂山の子供たちを素敵にたくましく育てられるよう、ご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

巣立ちゆく6年生へ

4月からは新しい道を一步、一步、焦らず、自分のペースでしっかりと歩んでください。今、贈ります。「ご卒業おめでとう。そして、たくさんの思い出をありがとう。新しいステージで自分をもっと、もっと素敵に輝かせてください。」

「おめでとう集会」を開催しました

2月16日(金)5・6限に、「おめでとう集会」を開催しました。在校生の1年生から5年生までのそれぞれの学年から、お世話になったお兄さんやお姉さんに歌や合奏等を贈り、感謝の気持ちを届けることができました。また、心をこもった手作りプレゼントが各学年から6年生に贈られました。入学してから1年間、いっぱい遊んでもらい、いっぱいお世話をしてもらった1年生にとっては、「おめでとう」と卒業をお祝いする気持ちより、お兄さんやお姉さんとお別れしなければならないことで、心のどこかにぽっかり穴が開いたような寂しさを感じたことでしょう。

今、羽ばたこうとしている6年生はもちろん、砂山の子供たちは本当に素敵でした。

「学校保健安全委員会」を開催しました

2月15日(木)には、今年度の学校保健安全委員会を開催しました。当日は、内科医の上西 豊基先生、月山 啓先生、眼科医の松本 英樹先生、歯科医の高塚 努先生、戸村 善明先生、薬剤師の鈴木 桂子先生をお迎えしました。

5限目に5年生が出席し、先生方に様々な質問をして、それぞれの分野で答えてもらい、たくさん教えていただきました。さすが5年生だなと感じました。質問内容も高度なものが多く、先生方も感心されていました。堂々とした態度でしっかり質問し、また、全員の聞く態度も素晴らしく、6年生からバトンを繋いでくれる子供たちに育ってくれたなど嬉しく、頼もしく感じました。

先生方への質問から学んだ一例として、健康な歯を保つためには、やはり丁寧な歯磨きだそうです。今は常におやつ等を口に入れていることが多く、食べると必ず歯が汚れてしまいます。できるだけ歯を磨くよう心がけること(食後の歯磨きの定着)、おやつ等の食事以外の食べ方にも気をつけることが大切であると教えていただきました。委員会終了後には、毎日の親の関わりがむし歯予防に大きな効果を発揮し、中学年ぐらまでは、子供の歯磨きチェックが必要だとお聞きしました。今からでも遅くないそうです。お子さまの歯磨きチェックを再開したり、大人の私たちも丁寧な歯磨きに心がけたりするなど、健康な歯を保てるようにしたいですね。

保護者の方々にもお忙しい中ご参加いただき、本当にありがとうございました。